



## 令和 4 年度男女共同参画社会推進講演会を開催しました



【ハリエット・タブマン】

【エリザベス・ヘイリック】

【ロサ・パークス】

【リトル・ロック・ナイン】

令和 5 年 1 月 21 日 (土) 本郷ふれあいセンターにて、NY カーネギーホールに出演経験のあるゴスペルシンガー Hanna(ハンナ) Bunya(ブンヤ) さんを招き、「ゴスペルと Big Mama と呼ばれた女たち」と題し、ゴスペルの曲を交えながらゴスペル音楽の歴史と奴隷解放運動や公民権運動を支えた「勇気と行動力のある女性たち」のお話をいただきました。黒人霊歌、ゴスペル音楽は人権を剥奪され、奴隷としてアフリカから連れてこられた人々の悲痛な歴史を背景に 17 世紀半ばのアメリカで生まれ、時には仲間への秘密の暗号メッセージとして歌われたそうです。

アメリカ独立の奴隷解放運動時代、奴隷制度の鎖を断ち切った「ハリエット・タブマン」や女性ネットワークで消費者不買運動を起こした「エリザベス・ヘイリック」。公民権運動時代、人権平等のために行動を起こした「ロサ・パークス」、白人と黒人の分離教育撤廃の「リトル・ロック・ナイン」。「Big Mama」と呼ばれる勇敢で強く生きた女性たちが、時代を変えたリンカーンやキング牧師を支えていたのです。そして、弱音や愚痴を吐かず意見をいうこと、ヒーローの出現を待たずネットワークで行動を起こすことなど「勇気と信じる心」が社会や世界を変えたと話されました。アカペラでの黒人霊歌からスタートして最後にジャズの名曲「What a Wonderful World」を歌い上げた Hanna(ハンナ) さんの、心を揺さぶるパワフルな歌声とトークでゴスペルの歴史を知ることができました。

### 参加者の声

- 素敵な歌と有意義なお話が聞けました。● 米国の歴史再確認。もう一度勉強したいと思った。
- 難しい話ばかりでなく歌を織り交ぜたものは心に響いて良かった。
- Big Mama 良かった。ロサ・パークスのような勇気、意思表示は必要。それが 50,000 人のバスボイコット運動を誘発することにつながった。

問合せ先：阿見町男女共同参画センター

〒300-0333 阿見町若栗 1886-1 中央公民館 1 階

火曜日～日曜日 9:00～17:00

電話・FAX 029-896-3181

E-mail [danjokyodosankakucenter@town.ami.lg.jp](mailto:danjokyodosankakucenter@town.ami.lg.jp)



# 人生 100 年時代の結婚と家族に関するデータ

## 結婚と家族の現状

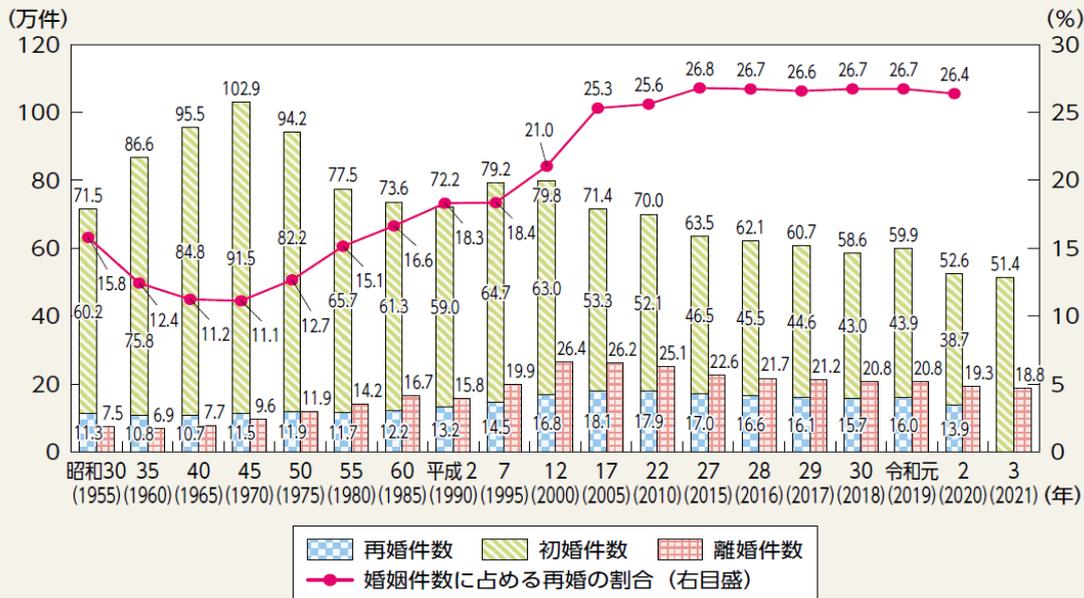
資料出所：内閣府令和 4 年版男女共同参画白書

人生 100 年時代を迎えて、日本の家族と人々の人生の姿は多様化し、昭和の時代から大きく変化している。

### 〈婚姻関係の変化〉

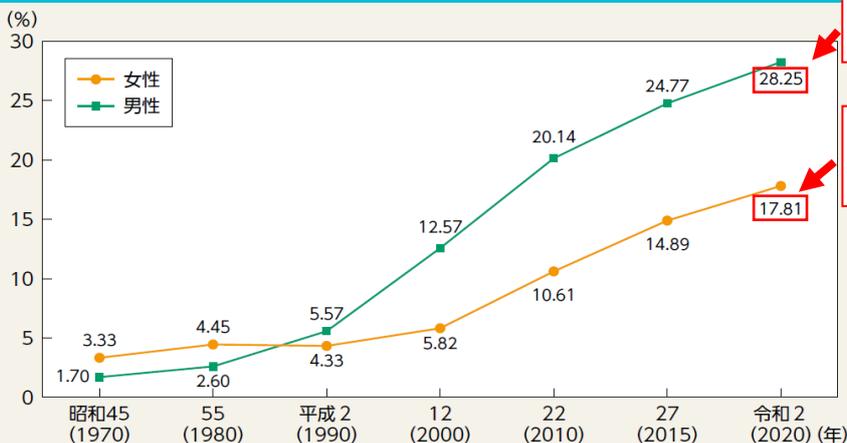
昭和 45 (1970) 年は、婚姻件数約 100 万件、離婚は約 10 万件。令和 2 (2020) 年は、婚姻 52.6 万件に対し、離婚 19.3 万件で、婚姻件数の 3 分の 1 となっている。また、令和 2 (2020) 年の再婚件数は 13.9 万件と婚姻の 4 件に 1 件が再婚となっており、結婚・離婚の姿は、昭和の時代から様変わりしていることがわかる。また、男性の 50 歳時の未婚割合が急上昇しており、女性を大きく上回り続けている。

### 結婚・離婚・再婚件数の年次推移



- (備考) 1. 厚生労働省「人口動態統計」より作成。  
 2. 令和 3 (2021) 年の数値は、日本における外国人等を含む速報値。令和 3 (2021) 年の婚姻件数は、再婚件数と初婚件数の合計。

### 50 歳時の未婚割合



50 歳男性の約 4 人に  
1 人は独身

50 歳女性の約 6 人に  
1 人は独身

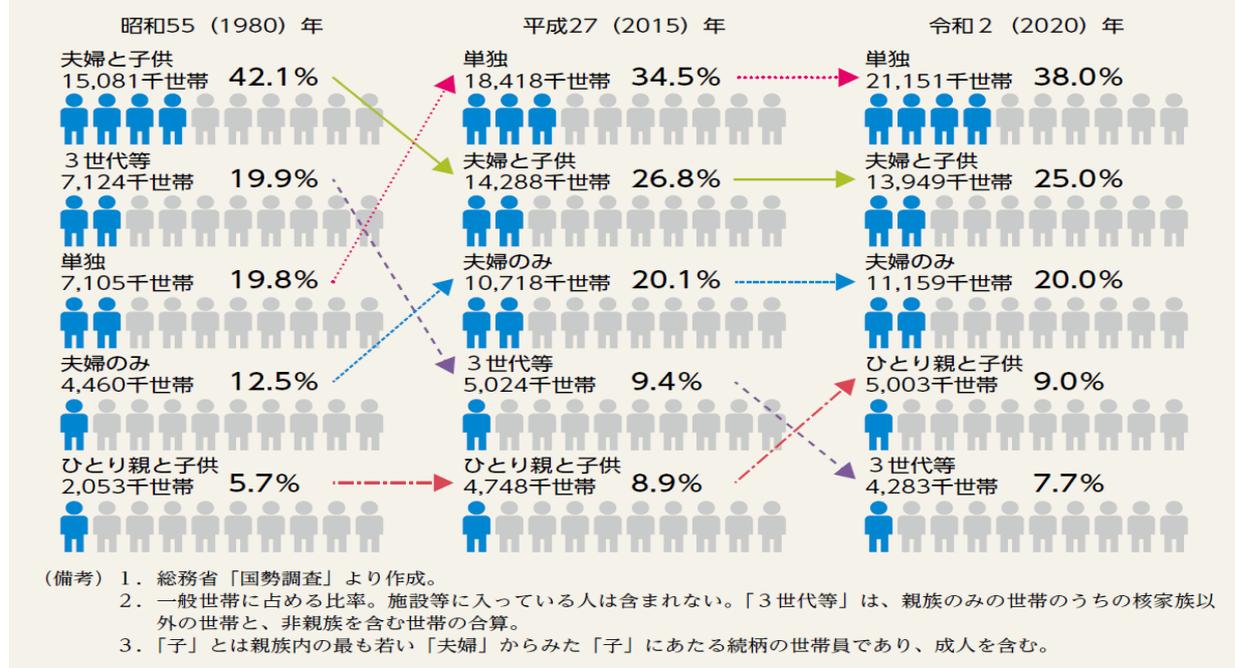
- (備考) 1. 国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集 (2022)」より作成。  
 2. 「50 歳時の未婚割合」とは、45~49 歳の未婚割合と 50~54 歳の未婚割合の平均値。  
 3. 平成 27 (2015) 年と令和 2 (2020) 年は、配偶関係不詳補完結果に基づく値。

### 〈家族の姿の変化〉

昭和 55（1980）年時点では、全世帯の 6 割以上を「夫婦と子供（42.1%）」と「3 世代等 19.9%」の家族が占めていた。

令和 2（2020）年時点では、「3 世代等」世帯が 7.7%に低下している一方で、「単独」世帯の割合が 38.0%と昭和 55（1980）年時点より 2 倍近く増加している。

### 家族の姿の変化

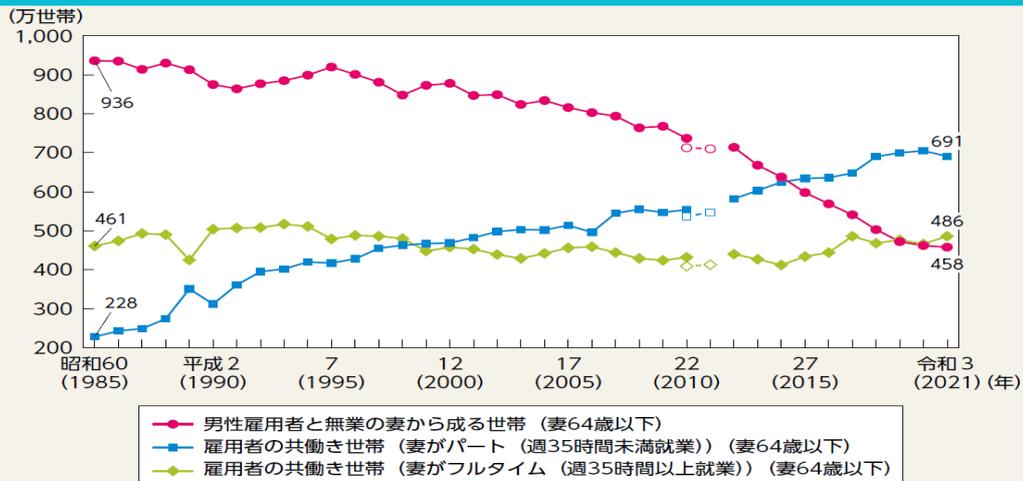


### 〈専業主婦の減少〉

「共働き世帯」は増加傾向にある一方、「サラリーマンの夫と専業主婦の世帯」は減少傾向。

「共働き世帯」の妻の働き方別に見ると、フルタイム労働は昭和 60 年以降横ばいに推移しているが、パートタイム労働の世帯数は昭和 60 年以降、約 200 万世帯から約 700 万世帯へ増加。

### 共働き等世帯数の推移（妻が 64 歳以下の世帯）



- (備考) 1. 昭和60年から平成13年までは総務庁「労働力調査特別調査」(各年2月)、平成14年以降は総務省「労働力調査(詳細集計)」より作成。「労働力調査特別調査」と「労働力調査(詳細集計)」とは、調査方法、調査月等が相違することから、時系列比較には注意を要する。  
 2. 「男性雇用者と無業の妻から成る世帯」とは、平成29年までは、夫が非農林業雇用者で、妻が非就業者(非労働力人口及び完全失業者)かつ妻が64歳以下の世帯。平成30年以降は、就業状態の分類区分の変更に伴い、夫が非農林業雇用者で、妻が非就業者(非労働力人口及び失業者)かつ妻が64歳以下の世帯。  
 3. 「雇用者の共働き世帯」とは、夫婦ともに非農林業雇用者(非正規の職員・従業員を含む)かつ妻が64歳以下の世帯。  
 4. 平成22年及び23年の値(白抜き表示)は、岩手県、宮城県及び福島県を除く全国の結果。

# 「二十歳のつどい」にて、性暴力被害を防ぐための啓発パネル展示！

令和5年1月18日（日）「令和4年度阿見町二十歳のつどい」が町民体育館で行われ、中央公民館ロビーに設置されたバルーンアート・フォトブース会場で、男女共同参画パネルを展示し、性暴力被害を防ぐための啓発を行いました。

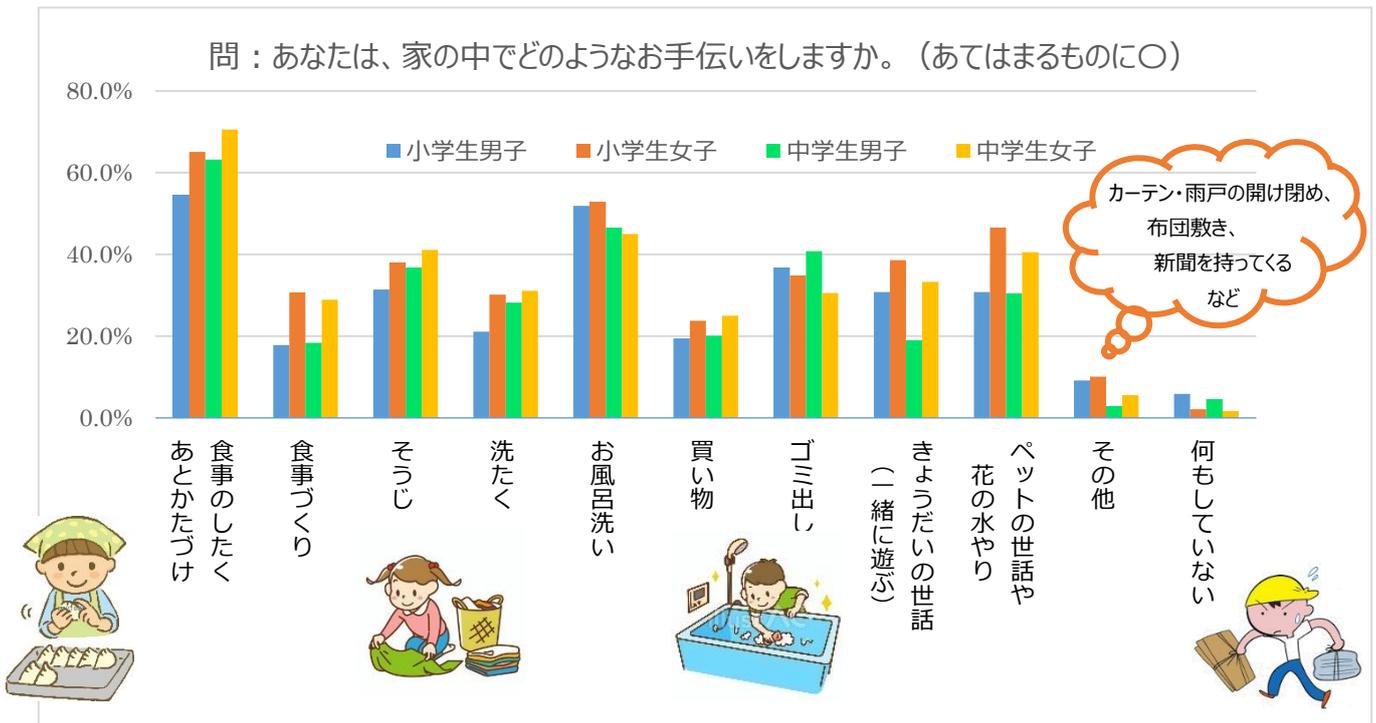


写真：広報あみ 2023/2月号より

## 令和4年度男女共同参画に関する小中学生意識調査より

令和4年7月、町内小学5年生407人、中学2年生399人を対象に「男女共同参画に関する小・中学生意識調査」を実施しました。この調査は3年毎に実施しており、今回が3回目の調査です。調査結果は、後ほど町ホームページで紹介します。

### ●家の中のお手伝い（家庭における性別役割分担意識）



小学生、中学生ともに「食事のしたく・あとかたづけ」「お風呂洗い」のお手伝いをしている人が多いようです。特に中学生のお手伝いが前回より増えています。1人ひとりのお手伝いの数も多く、家事への抵抗感もあまりなくなっているのでしょうか。また、「家の中で、食事のしたくやそうじ、洗たくのような家事は誰がするのが一番よいと思いますか。」の問いでは、9割以上の小中学生が「家事はみんなで協力してやるのがいい」と答えています。自分の家の「家庭の仕事」がどれくらいあるのか、主に誰がやっているのかを知り、どのように協力したらよいのか、家族みんなで考えて、家の中が気持ちよく楽しく暮らせたらいですね。